

表紙に使用している画像は、平成26年11月27日にその技術がユネスコの無形文化遺産に登録された「細川紙」です。
町では今年、和紙文化の振興などを図るため、11月27日を「小川和紙の日」と決めました。

P.4

平成28年度決算 ただ 議員が質した 212のこと

P.9

議会体制が一新 16人が 一丸となって



段ボールカーで飛ばすぜえ〜！（町立竹沢保育園運動会）

No.85
お

が

2017
秋 号

ぎ
9月定例会

が



埼玉県小川町議会

わたしのひとコト「だから小川が好き」

P.16



横田俊雄さん
真っ青な空に
くっきりと立つ
笠山、堂平が好き。

澤田文子さん

腰中に越してき
て8年。家事に
仕事にと忙しく
過ごしています。



P.10

一般質問に 9人が登壇

議員のつぶやきにも注目

各ページ下にも
町のみんなから
ひと「ト」！



人が輝くまちへの第一歩を認定

「小川町第5次総合振興計画」策定から1年が経過しました。町は、10年後の将来像を「自に、平成28年度当初予算を組みました。そして、迎えた初めての決算。歳出規模は前年度を指摘・注目した事業を中心にお知らせします。

然の恵みと文化を 未来につなぐ 人が輝くまち」とし、実現に向け「選択と集中」をスローガン2億2986万円(2.5%減)下回りましたが、議会ではこの切り盛り決算を認定。ここでは議会が

評価

- 入 町税の徴収率が向上(87.7%→89.0%)
- 入 特別土地保有税の収入(3023万円)
- 出 自主的な防犯活動の推進(こどもあんしん110番の家559件、ウルトラ防犯パトロール隊818人)
- 出 和紙原料の楮生産を推進(3カ年事業の初年度、補助金400万円)
- 出 移住サポートセンターを開設(町外からの移住者5件9名)
- 出 セタまつりの成功(20万4000人の来場)
- 出 リリックおがわの運営直営に切りかえて3年たつが、利益を出す成果を上げている。
- 出 下里青山板碑製作遺跡の保存保存活用計画を策定(300万円)。大沢谷遺跡(青山)の測量
- 出 子育て応援ナビの開設子育て支援に関する情報をタイムリーに配信。
- 出 情報教育の充実(タブレット端末の導入各中学校に40台)



楽天の専門サイトに業務委託し、増収(144万円→210万円)。返礼品も充実。



有機野菜を使用したメニューの採用。食物アレルギー対応マニュアルの作成。子供議会から提案のセレクト給食を実施。



11件12人全員が有機農業の担い手。



地域の見守り活動の強化を図り、支援体制が充実。

課題

- 入 特別土地保有税の不納欠損処理(1億272万円)
- 出 行政区の自主防災組織市街地での組織化
- 出 家具転倒防止器具の普及単身高齢者へのさらなる周知
- 出 ごみ減量化の対策資源回収実施団体への奨励(33団体、延べ85回)古紙回収の工夫
- 出 リリックおがわの老朽化空調設備等の修繕費137万円

町道228号線が未完成

平成28年度においても事業完了はかなわず、次年度に持ち越し。(平成29年度完成予定)



平成29年10月には、ホンダが4年後を目途に県内2カ所の完成車工場を寄居工場へ集約することを発表。その影響は大きく、254号バイパスを主に、さらなる渋滞が予想されている。県道部分を含めて同バイパス迂回路の早期完成を望む。

監査委員の意見

代表監査 田端 文夫



平成28年度一般会計の単年度収支は2352万円で、3年ぶりの黒字となりました。しかし、財政調整基金の取り崩し額(2億9070万円)を差し引いた実質単年度収支は2億6641万円で、6年連続の赤字になりました。

本年度一般会計及び特別会計の歳入決算額は

172億4115万円で、前年度に比べ0.5%の減少です。これは、主に介護保険・国民健康保険・後期高齢者医療各特別会計が、それぞれ(4.5%、0.3%、4.1%)増加したものの、一般会計が2.2%減少したことによるものです。

歳出決算額は165億3374万円で、0.8%の減少です。これは、主に介護保険・国民健康保険各特別会計が、それぞれ(3.2%、0.7%)増加したものの、一般会計が2.5%減少したことによるものです。歳出歳入差引額は7億741万円で、6.6%増加しました。(決算審査意見書より抜粋)

議員が 質した 平成28年度 決算 212 のこと

Heisei 28th Closing Question

9月定例会は「決算議会」と称され、前年度の一般会計及び特別会計の審査が中心となります。事業や執行状況について、議員が質した質疑総数は212！ここでは皆さんに身近な事業をピックアップしてお伝えします。熱のこもったやり取りを、会議録とあわせて、ぜひご一読ください。

すべての項目は、町ホームページの「会議録の検索と閲覧」ページでご覧いただけます。（9月定例会の会議録は11月末ごろ掲載予定です）

本年度スタート 子育て応援ナビの活用を

Q 子育て支援に関する情報配信はもちろんだが、保護者を対象としたがん検診等の案内も加え、充実を図っては。

A 200人超の登録を受けていますが、保護者の年齢等は把握していません。また、対象となる各種検診情報をどこで得たか等の分析もしていません。

民生・児童委員の委 嘱替えは

Q 本年度、新たな1期3年の委嘱期間がスタートしたが、活動への支援は。また、それらを支える役割として「地域福祉委員」の取り組みも始まったとのことだが。

A 月に1度の定例会で、事例

等に関した研修を行なっています。あわせて、県の民生・児童委員協議会主催の各種研修を案内し、モチベーションやスキルの向上につなげているところです。また、地域福祉委員については、現在97人が委嘱を受け、高齢化等の課題を共有・理解し、前向きに取り組んでいます。

学校給食センター

Q 運営委員会で話し合われた現状と課題の中で、食物アレルギーに関しての対策は。

A 食物アレルギーのマニュアル

ルを作成しており、28年度途中から対応しています。今後も保護者への説明を丁寧に行なっていく予定です。

下里青山板碑製作遺跡

Q 保存や活用方法をどのように考えているのか。

A 保存に関しては、条例の見直しを含めてしっかりと取り組みます。また、活用の面では、マスメディアに取り上げていただくような取り組みも考えたいです。

安心安全

Q 防犯ボランティアの高齢化に伴い、みずから事故に巻き込まれてしまう事例がある。当町の対策は。

A 現在町では818人の方に、ウルトラ防犯パトロール隊としてご協力をいただいています。

事故に巻き込まれないよう注意喚起はもちろんのこと、不審者対応等の講習会を企画しています。万が一のため、傷害・賠償保険にも加入しています。

Q 子供の安全を守る「こどもあんしん110番の家」の看板等の状況確認は。

A 現在約500件の登録があ

健全な財政運営と企業支援 積極的な取り組みを

Q 法人町民税額が町民税総額の1割程度にしか満たない状況下、企業誘致を中心とした税収増を図るのか。

A 企業誘致は、県の田園都市づくり課と有効な土地利用について協議しています。また、町内中小企業や商店へは、空き店舗を活用した創業支援と、観光・交流人口を増やす手立てを検討します。

Q 長年の懸案事項であった大口3社の特別土地保有税の滞納内1社においては、公売により一定の滞納整理ができたのではないかと評価する。一方で、1億円を超える不納欠損処理が

されたが、その判断基準とは。

A 地方税法15条7の5項（主として会社廃業や相続放棄が欠損処理要件）を適用し、即時欠損処理を行いました。

農業の担い手支援

Q 青年就農給付金（経営開始型）を活用した12人の農業従事者。傾向等は。

A 12人全員が有機農業に取り組みられています。ここ20年来にわたって有機農業者のイターンが目立ち、特に当町では若い新規就農者が増えていきます。小川型農業を支えていただく中でも、心強く感じているところです。

日々子供達の登下校を見守ってくださるウルトラ防犯パトロール隊。ベストを着用し交差点にいれば、事故や犯罪の抑止につながるそうです。



ホームページからデータとして見られるので、紙媒体は必要ないのでは？印刷代が無駄だと思う。



(M・Kさん・39歳)

表紙のモデルになってみたい。笑顔に自信があります。



(T・Kさん・65歳)

吹き出し、説明文があるところ。



(N・Oさん・38歳)

お年寄りには字が細かいのでは？

最初は二度見しちゃいました。ホントに。斬新なデザインが良。

平成28年度特別会計決算に関する質疑

国民健康保険

Q 特定健康診査の受診率を上げるための努力をする中、本年度の振り返りと今後の取り組みは。

A 特定健診の受診率は、39.6%であり県内平均と同等です。今後は、県内目標の60%を目指していきます。また、保健指導の重要性を重視した取り組み、町独自の二次健診^①も継続していきたいです。これにより、生活習慣病の予防につなげ、医療費の抑制にもつなげていきます。

Q 保険給付費支払基金の年度末現在高は1億5400万円。平成30年度から運営主体が県に移行する中で、今財産（基金）の保全や活用における取り組み等は。

A 現状は保険給付に係る基金となっているので、このままでは広域化に伴って使えなくなってしまう。今後は条例改正を経て、一般会計における財政

調整基金のような形とし、被保険者への還元を念頭に進めていきます。

介護保険

Q 法の改正を受けて、平成29年度からの完全移行が示されていた新たな地域支援事業。当町においては半年前倒しでスタートしたところだが、スムーズな移行はかなったか。

A 対象事業のすべてを途中で切り替えることは難しいもので、各更新時にあわせて段階的に切り替えてきた状況です。また、通所型・訪問型ともにサービスを提供する担い手の確保に苦労を要しているところですが、社会福祉協議会に委託している生活支援コーディネーター^②を中心に、サービスを検討・担い手の発掘等に取り組んでいます。

Q 介護予防における活動や支援の取り組み等は。

A 主に、はつらつクラブの実施・介護予防サポーター養成講



「楽に立ち上がれる！ 速く歩ける！ 転ばなくなった！」と効果検証された百歳体操。地域でのつながりや見守り、支え合いへの展開に期待！！

座・通いの場づくりとして各種サロン等の運営に補助等をしていきます。また、「いきいき百歳

体操」のサポーター養成にも取り組んでいます。

平成29年度補正予算に関する質疑

地籍調査事業の行方

Q 土地の境界の明確化や公共

事業の円滑化等、メリットの多い地籍調査事業だが、600万円超の県補助金が減額される。

背景や進捗等は。

A 埼玉県内では、他市町村からも多くの要望箇所が出されており、補助金が少なくなっている状況です。今後でもできる範囲で補助金を活用し、進めていきます。また、次期10カ年計画は、町全体の調査が効率的に進むように策定していきます。

オリンピック・パラリンピック教育

Q 東中が「次代に語り継がれるレガシー創出事業」の研究校に指定されたが、取り組みは。

A オリンピック・パラリンピックに出場した地元ゆかりのある選手^③を招聘し、11月を

目途に生徒・保護者を対象とした講演会を予定しています。また、JOCオリンピック教室事業^④を活用し、オリンピック選手と触れ合う中で、技能や思考面の向上を図ります。あわせて、部活動における主体的・対話的な深い学びを実践すること、伝統文化である和紙に触れ郷土愛を育むこと等を取り組み内容としています。

細川紙製の記念証を贈呈

Q 婚姻届や出生届を受けた際に、記念証の発行を考えているとのことだが。

A 細川紙を使ったA4サイズ程度のもを想定し、10月中には形にしたいと考えています。また、先進地を参考に、取り扱いの基準等を決定していきます。

条例その他の質疑

町長給与の減額へ

提案理由・概要：社会福祉協議会の福祉サービス利用援助事業（愛称：あんしんサポートねつと）における不祥事を重く受けとめ、時限的に減額（2カ月で17万円）するもの。

Q 一連の不祥事について、解決がされたのか。

A 5月末に刑事事件としての判決（懲役2年執行猶予4年）がされ、終結しています。ただ、起訴内容は被害の全額（516

万円）に関するものでなく、そのうちの57万円分となつています。残る459万円については、社会福祉協議会において民事裁判で求償していくことです。

Q 給与減額の算出根拠は。

A 被害額を基準に、元職員から一部返済された額・保険金として得た額を差し引き、実質的な損害額から算出したものです。元職員に対する管理監督責任を有した役員・職員で按分し、弁済することとしました。

✓解説 JOCオリンピック教室^④

オリンピック・ムーブメントの普及や啓発を目的として取り組む事業。オリンピック出場選手が先生となり、中学2年生を対象に授業形式で行なうもの。

✓解説 地元ゆかりのある選手^③

平成24年のロンドンパラリンピック「ウィルチェアーラグビー」に出場し、4位入賞を果たした川下直教氏。（小川町在住）

✓解説 生活支援コーディネーター^②

地域包括ケアシステムの構築・推進の担い手。新たな高齢者向けサービスの発掘や開発等に取り組む。

✓解説 二次健診^①

健診後に医師の判断で必要と認められる人に行なう。生活習慣病の予防につなげる目的がある。内容は、微量アルブミン尿、糖化負荷試験、頸動脈エコー検査。

町の地籍調査事業は、平成5年から40年計画で進めています。平成28年度は主に古寺地内の山林を調査しました。草木をかき分けて境界を探し、杭を打ち込む地道な作業。「地籍調査推進委員」として尽力いただく各地域の皆さんにも感謝です。





副議長 大戸 久一 議長 松本 修三

議会体制が 新しくなりました 全身全霊で取り組みます

議長就任のごあいさつ

去る9月定例会において、多くの議員各位からご推挙賜り、改めて議長を拝命しました。

早いもので、我々に課された今任期も折り返し、残り2年間となります。

過去お世話になった議長・副議長としての経験を最大限生かし、町民皆様のご負託にお応えできるよう、全身全霊で取り組む所存です。

また、議員各位の高い倫理観をもって、これまで以上に充実した議会となるよう努めてまいります。

全16人の議員が丸となった当町議会の活躍に期待ください。

8月28日 臨時議会開催 進む大規模改修 来年4月リニューアルオープン (仮称)小川町子ども子育て総合センター 工事業者が決定



大規模改修が始まった現子育て支援センター。「安全第一」を合言葉に、工期の厳守を願っています。生まれ変わる同センターに期待が膨らみます。

Q 工事規模からみて、分別解体をしながら資源化されていくと捉えているが、その解体計画等は町が作成するのか。また、管理技術者の配置は。

A 町が作成し、請負業者と協議しながら、責任を持って進めていきます。また、管理技術者は、配置されると確認しています。

Q 地方創生や今後の町のあり方等、多くを担っていく施設の整備である。町ホームページや公式ツイッターを活用し、随時改修の進捗を更新・報告しては。

A すでに子育て支援課内の女性職員から、同様のアイデアが出されていたところ。4月のリニューアルオープンに向けた機運の醸成を図るため、進めていきたいと考えています。

賛否が分かれた議案をお知らせします

| 議員名 | 松本 修三 | 根岸 成美 | 宮澤 幹雄 | 柴崎 勝 | 大戸 久一 | 戸口 勝 | 島崎 隆夫 | 金子 美登 | 松葉 幸雄 | 高橋 さゆり | 山口 勝士 | 田中 照子 | 高瀬 勉 | 笠原 規弘 | 井口 亮一 | 笠原 武 | 審議結果 | 議案名 |
|---|-------|-------|-------|------|-------|------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|------|-------|-------|------|------|-----|
| 一般会計歳入歳出決算の認定 ※歳入決算額91億5817万9152円 歳出決算額88億2086万784円 P2～5参照 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 認定 | |
| 国民健康保険特別会計(事業勘定)歳入歳出決算の認定 ※歳入決算額43億3029万7514円 歳出決算額41億4204万7437円 P6参照 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 認定 | |
| 後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定 ※歳入決算額3億5134万9311円 歳出決算額3億4448万6896円 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 認定 | |
| 介護保険特別会計(保険事業勘定)歳入歳出決算の認定 ※歳入決算額26億33万5358円 歳出決算額24億7768万4715円 P6参照 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 認定 | |

※(○は賛成、×は反対、欠は欠席、討は討論)議長は賛否同数の場合のみ採決に参加します



一部事務組合議会から報告

可燃ごみ処理

埼玉中部資源循環組合議会
(平成29年8月10日)

環境アセスメント5実施へ

平成28年度一般会計歳出決算3億3038万円を認定しました。平成28年度決算など5議案を審議し、いずれも原案のとおり可決・認定しました。予定していた環境アセスメントは、平成29年度に実施します。

ごみ処理・し尿処理

小川地区衛生組合議会
(平成29年8月17日)

し尿処理施設を改修中

平成28年度一般会計歳出決算13億1979万円を認定しました。現在、し尿処理施設の脱水設備等を改修しています。また、ごみ処理施設整備基金が5億730万円あり、今後の改修などに充てられます。

消防・救急・斎場の管理運営・介護・障害審査会

比企広域市町村圏組合議会
(平成29年8月9日)

東松山斎場基本設計が完成

平成28年度一般会計歳出決算6330万円と特別会計30億2872万円を認定しました。平成28年度決算など提出議案10件を原案のとおり可決しました。

解説 環境アセスメント5

環境影響評価のことで、主として大規模開発事業等による環境への影響を事前に調査することによって、予測・評価を行う手続のこと。略して「環境アセス」とも称する。

経済建設常任委員会
所管課：環境農林・にぎわい創出・建設・都市政策・上下水道

前列右から
○ 柴崎 勝
◎ 井口 亮一
◎ 大戸 久一
金子 美登
山口 勝士

後列右から
○ 笠原 規弘
◎ 松葉 幸雄
◎ 松本 修三
宮澤 幹雄
田中 照子

●議会運営委員会

◎戸口 勝 ○笠原 武
松葉幸雄・井口亮一・大戸久一・島崎隆夫

●小川地区衛生組合議会議員

松本修三・柴崎 勝・高瀬 勉・田中照子

●比企広域市町村圏組合議会議員

松本修三・笠原 武

●埼玉中部資源循環組合議会議員

松本修三・金子美登・高橋さゆり

◎=委員長 ○=副委員長

総務常任委員会
所管課：総務・政策推進・防災地域支援・税務・会計

前列右から
○ 笠原 規弘
◎ 松葉 幸雄
◎ 松本 修三
宮澤 幹雄
田中 照子

後列右から
○ 柴崎 勝
◎ 井口 亮一
◎ 大戸 久一
金子 美登
山口 勝士

厚生文教常任委員会
所管課：町民・健康福祉・長生き支援・子育て支援・学校教育・生涯学習

前列右から
○ 高瀬 勉
◎ 島崎 隆夫
◎ 松本 修三
宮澤 幹雄
田中 照子

後列右から
○ 柴崎 勝
◎ 井口 亮一
◎ 大戸 久一
金子 美登
山口 勝士

一般質問とは、町の施策等について、議員が町に考えや意見を求めるものです。議会だよりでは、このやりとりを要約して報告します。



いつでも、安くて町内でこへでも行けるデマンドタクシーがほしいですね。

笠原 武が問う

安価なデマンド型交通の導入を

Q 当町は他の市町村と比べて、利用料金が高過ぎるのでは。100〜200円均一くらいにできないか。

A 都市政策課長 初乗り料金500円は、タクシーの初乗り運賃と路線バスの運賃との中間であり、ドア-to-ドア、個別輸送型で運行する東松山市・川島町と同額で設定しました。なお運賃については、各種調査結果等を踏まえて、地域公共交通活性化協議会で議論していただきます。

Q 「予約できない」となっているが、1週間前くらいから予約できるような

にする必要があるのでは。

A 都市政策課長 デマンドタクシーを運行する事業者は、限られた乗務員・車両数の中で運行しています。予約の分で一般タクシーが専有されてしまうと、デマンドタクシーの利用者全体で見たとときに不便をこうむる方が多くなることから、予約を受けつけることは考えていません。

Q 乗降ポイント97カ所は、もっと増やすべきではないか。

A 都市政策課長 実証実験登録者アンケートで6割強の方は不便を感じていないと回答しています。一方で金融機関・公会堂等追加を望む声もあるため、地域公共交通活性化協議会で再検討しています。

その他の質問

・学校規模等に係るアンケート結果から



出かける手段に困っている方が心待ちしているデマンドタクシー。



和紙の魅力で笑顔が溢れるワッシツシな町になるといいなあ。

高瀬 勉が問う

和紙を身近に感じる施策展開は

Q 6月定例会で制定がなかった「小川和紙の日」。来る11月27日に向けた考えや、取り組みは。

A にぎわい創出課長 小川和紙の普及宣伝と、広く町民の皆さんに向けた取り組みとして、埼玉伝統工芸会館で「小川和紙フェスティバル」の開催を予定しています。なお、当日は月曜日となりますが、実施期間を11月25日(土)から27日(月)とし、工夫を凝らしたイベントにしたいと考えています。

Q 和紙の需要増に向けて、各公共施設内での使用拡大を。

A にぎわい創出課長 まずは、町内公共施設での利用を呼びかけ、取り組みを図っていきたいと考えます。

Q 来る12月10日に開催される第25回記念小川和紙マラソン大会。記念事業の取り組みは。

A 生涯学習課長 まずは、ゲストランナーとして毎年協力をいただく本田技研工業と、大東文化大学の選手皆さんに加え、市民ランナーとして有名な埼玉県庁所属の川内優輝選手にも出場いただけることになりました。次に、「第25回連続参加者表彰」と題し、選手またはボランティアとして第1回大会から連続で参加している方々を対象に、感謝状を贈ります。



“あの”川内優輝選手が初冬の小川路を全力疾走。楽しみですね。



計画の推進には、町民への丁寧な説明が大切です。

田中照子が問う

公共施設等管理計画の推進を

Q 公共施設等管理計画では、今後、町の基金が底をつこうとしている中、公共施設における改修・更新費が年間平均7・9億円、インフラ⁶においては8億円が不足することが予測されているが、財源の見通しとその打開策は。

A 政策推進課長 公共施設を現状のまま使用した場合、その改修や更新経費を捻出することは困難な状況です。計画では30年後までに公共施設を40%削減することを目標にしています。これに基づき公共施設の集約化や複合化及び統廃合の推進、

インフラについては定期点検等を行ない、長寿命化を図っていきます。財政状況は、以前にも増して厳しくなっています。歳出削減には限界があることから、企業誘致の推進、人口減少の抑制など、引き続き財源確保に努めていきます。

Q 計画推進の実行体制においては、官民協働・連携の環境整備を図るとあるが、具体的な取り組みは。

A 政策推進課長 施設の改修・更新等を進めていく中で、民間活力の活用を検討することが大切だと考えています。効率的整備・運営などが期待されるPPPやPFI⁷等は、有効な手法となり得るものです。今年度は、職員の民間活力に対する理解を深めることを目的に、国や金融機関との連携による研修会を予定しています。

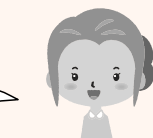


早速開催されたPPP/PFI研修会。今後も継続的な研修を期待します。

解説 PPP、PFI⁷

公共施設の建設、維持管理、運営などを民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行なう手法。PFIは数あるPPP手法の一つである。

星夢ちゃんの動きはもっとあってもいいのでは。



(S・Nさん・45歳)

インタビュー形式の聞く×つなぐ

Mini Column

オガワマチのこと
ギカイのこと
一緒に見よう、考えよう
「議会だよりのいいところ・悪いところ」

解説 インフラ⁶

インフラストラクチャー (infrastructure) の略で、産業や生活を成り立たせるために必要な施設やサービスのこと。



町民が待っている
県道本田小川線開通。

柴崎 勝が問う

町道228号線等の管理は

Q 町道228号線旧道敷の活用は。また、この工事に伴い、後伊親水公園が取り壊されたが再整備は。

A 建設課長 調査を行ない、地域の皆様の意見を踏まえ、利用方法を考えます。また公園敷地の一部が事業用地となつたため、その代替としての公園整備、及び水辺環境の保全を進めていきます。

Q 228号線等をはじめ、町道の除草作業は。

A 建設課長 町道の除草作業は、予算の範囲内で業務委託をしています。



安全のため除草が待たれる町道228号線周辺

また、春・秋の道路愛護の一環とし、地域の皆さんのご協力に対応いただいています。

公共施設等総合管理計画は

Q 小中学校及び駅周辺公共施設再編の進捗状況は。

A 学校教育課長ほか 全ての教職員等を対象に、学校規模に係る教育の現状と、課題解決のあり方についてのアンケートを実施しました。結果は、学校適正規模の視点から教育活動の現状と課題を整理し、学校再編を含めた課題解決の重要な資料として活用していく予定です。駅周辺公共施設の再編は、特に中央公民館の廃止及び機能移転、主な移転先の町民会館の改修及び耐震化工事を来年度実施に向けて準備を進めています。



人の流れをつくる
観光を本気で取り
組んでほしいなあ。

山口勝士が問う

町の活性化の具体的な展開を

Q 「小川町には魅力がいろいろあるのにもつたない」この言葉をどう捉えるのか。魅力はあるのか、ないのか。あるとしたら生かしているのか。展開が不十分だとしたら何が原因で、進めるためにどうしたらいいのか。

A にぎわい創出課長 和紙や酒蔵、歴史ある建造物、各地域のお祭りやイベント等の観光資源を、町外のイベント等に出向く際には積極的にPRしていただく取り組みを展開していきます。町内においては町民に知っていただく取り組みを進め、



町を訪れた方に、まず魅力発信の機会と場所を。

まだまだ生かし切れていない当町の魅力を観光資源として確立できるよう進めていきます。

Q 現在テナント募集になっている「しまむら」旧店舗を、観光紹介、お土産・物産紹介、さらに高齢者の買い物時などの立ち寄りサロンなど、アイデアあふれる町の顔として利用することはどうか。観光関連を集約することで、家賃の創出も可能ではないか。

A にぎわい創出課長 観光協会の財源等もあり、現在のところ考えていませんが、今後の動向を見守っていきたいと考えています。

その他の質問

・学校規模に関するアンケート結果、今後どう検討が進むのか



深谷市が推進する
アウトレットから
観光客の誘導を。

井口亮一が問う

花園IC拠点整備事業に参画を

Q 深谷市が推進している「花園IC拠点整備プロジェクト」では、アウトレットモールに大きな集客が見込まれている。小川町駅からシャトルバスを運行し、当町に観光客を誘導する研究は進んでいるか。

A 都市政策課長 現在町内で運行しているバス事業者に聞き取りを実施したところ、2社から実現に前向きな回答が寄せられており、小川町駅から現地までのバスの運行について協議しています。



ヤオコーの中にみどりが丘自治会館があったらしいね。

民間事業者との連携を

Q みどりが丘のヤオコー改築の際、まちづくりと一体的に取り組み、施設内に自治会館などの機能を取り込むことは。都市政策課長 みどりが丘のまちづくりについては、25年が経過して新たな段階を迎えています。住民団体と十分相談した上で、そのような希望があれば事業者との仲介をしながら一緒に考えていきたいと思っています。

Q 商業施設内の自治会館では、行政サービスの取り次ぎや選挙の際の投票はできるか。

A 総務課長 行政サービスについては、自治会と委託契約をすればできます。投票もできると思います。



専門用語の説明等、細かく町民にわかるようになっている。



議案の賛否の表が見づらい 議員ごとに破線を。

一般質問の欄は横一列で大変読みやすい。



わたしは「ひとこと」では足りません。もっと住民を登場させる工夫を！

和紙風も良い感じだけど、本当の和紙でつくってもらいたい！

Mini Column
オガワマチのこと
ギカイのこと
一緒に見よう、考えよう
「議会だよりのいいところ・悪いところ」

みんなで和紙に恋してみようよ。



おおとひさかず
大戸久一が問う

ユネスコ登録日の感動は

Q さまざまな問題の解決策を見出すため、和紙関係者を一堂に会し、膝を突き合わせた意見交換会の実施を。

A にぎわい創出課長 意見交換の場は必要と考えています。過日も和紙工業協同組合の皆さんと和紙体験学習センターの機能等について議論しました。今後もし引き続き、意見交換を行なっています。和紙の原材料である楮の他、ネリ材のトロロアオイは効果のある農薬がなく、連作を嫌うため栽培が難しい。減少する生産農家への支援や出荷先の拡大は。



手すき和紙体験で、和紙文化に恋をしそうな浴衣姿の体験者。

Q 和紙サミットのキャッチコピー「世界はなぜ、和紙に恋をしたのか」の答えは見つかったか。また、和紙文化を地域活性化につなげていく手立ては。

A にぎわい創出課長 答えは参加者の心に訴えかけたものです。また、課題に対して、和紙関係者の皆さんが考え行動すること、町はその下支えをすることで、和紙文化が広がり、和紙産業と町の活性化につながってくるものと考えています。

宝物である文化財を町民が愛し、保護してゆく町へ。



しまざきたかお
島崎隆夫が問う

町民と共に文化財の保護活用を

Q 町内の指定文化財において管理や理解は十分か。現状をどのように考えているのか。また、町民に伝える術を研究し、知ってもらい、愛してもらい、共に守っていただくようにしなくてはならないと考えるが。

A 生涯学習課長 町内には、国指定5件、県指定10件、町指定57件の文化財があり、管理はそれぞれの保護条例に基づき行っています。まずは、この条例の執行に当たっては関係者の所有権、財産権を優先しています。その上で、所有者や地域



観光資源でもある文化財だから、道標なども含めて管理する努力をしてほしいな。

Q 教育は、国を支える人を育てるために重要である。義務教育から社会人、生涯学習に至るまで、特色ある教育のできる町にしては。

A 町長ほか 「小川町の教育振興に関する大綱」に示しましたが、教育の充実は大変重要です。教育の本旨は人づくりであり、未来への投資です。豊かな心と自尊心を持ち、たくましく生きてゆく力を育むための教育を推進していきます。

の方々からなる保存会などの団体に管理を委託しています。修理や整備などに多額の費用がかかる場合などは、町が補助をしています。せっかく指定できたものなので後世に残せるように、保護に努めます。

教育に特化したまちづくりを

今から始めよう、超高齢化に対応する町の未来。



とくち まさる
戸口 勝が問う

高齢社会に向けたまちづくりを

Q 第5次総合振興計画に、「駅周辺は高齢者等が安全で安心して生活できる居住環境の整備」とあるが、大関町通りから駅へと向かう歩道のバリアフリー整備はどうなるのか。

A 建設課長 既存の空間での歩道設置と車道を上下1車線ずつ通行させるには不相当と認識しています。しかし、県の管轄の道路であるので、地域と町の要望を県へと力強くしていきます。

Q 高齢者が買物などの用事に、気軽に徒歩で出かけてみようと思えるには、



大関町通りの側溝上の歩道ではなく、道路を利用する高齢者。

Q 新年度より始まる「デマンドタクシー」は、想定される料金で計算する町の持ち出し額と今後の予算立ては。

A 都市政策課長 想定される「500円・1000円・1500円」のパターンで計算すると、1500万円〜200万円の持ち出しが予想され、全体予算から抽出し、さらにいきいきタクシー券とデマンドで重なる利用者を精査して反映させます。

ひと休みできる場所の提供が必要である。町民の協力のもと「ひと休みベンチ」の設置を進めては。

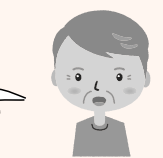
A 都市政策課長 ベンチ設置は、担当課だけではなく全庁で考える内容です。ので、大切な事業として今後提案したいと考えています。

表紙が毎号変わっていると。



(Y・Tさん・64歳)

一般質問という文字は、隠れていないほうが良いのでは。



(T・Kさん・65歳)

要点が分かりやすくまとめてあり読みやすい。



(M・Yさん・59歳)

Mini Column

オガワマチのこと
ギカイのこと
一緒に見よう、考えよう
「議会だよりのいいところ・悪いところ」

小 川町に70年以上住んでいます。私はこの町が好きです。あの笠山、堂平がいい。真っ青な空にくっきりと立つのもいいですが、白い雲が頂上付近に巻いているときなど、なお好きです。でも、当町は人口が減っています。毎年減っています。日本の人口全体が減っているのだから当たり前と言ってしまうかもしれませんが……。でも滑川町のように、年々増えているところもあります。なぜでしょうか。地理的な条件だけでしょうか。それだけではないと思います。聞くところによれば、小中学生の給食費と18歳までの医療費が無料とか……。これでは子育てがこれからという人は、滑川町に住みたくなるでしょう。小川町でもそうなってほしいですね。



住みたくなる
まちに

横田俊雄さん (原川)
Toshio Yokota



のんびり季節を
感じながら……

澤田文子さん (腰中)
Fumiko Sawada

腰 中に越してきて8年が過ぎました。子供のことや家事、仕事にと忙しく過ごしていると、1年がたつのがとても早いですね。

春から初夏へとかわるころ、庭や家の周りの雑草の勢が増してきます。

引越してきたときは草むしりをすると体が痛くなったのを思い出します。庭先から取り始めて、家の周りが終わってきれいになったと思ったのもつかの間、1～2週間でまた新しい草が……。本当に雑草の力はすごいなと感じています。ことしの夏は雨も理由に怠け気味でしたが……

子供が成長し時間がとれるようになったら、のんびりと季節を感じながら草むしりができたらいいなと思っています。

編集後記

今定例会から議会体制が新しくなりました。個性派？ 実力派!! メンバーで、議会だよりの編集に臨みます。表紙写真のテーマは「町民の笑顔と一生懸命な姿」。皆さんより一歩前でカメラを構えることにご理解を。

「知りたいこと」と「伝えたいこと」を、新メンバーで表現してまいります。ご感想はお近くの編集委員まで。
笠原規弘



また2年間お世話になります。これからも皆様に手にとってもらえる議会報を委員とともに目指します。
田中照子



最年長の新人編集委員です。幅広い年齢層の皆さんに読んでいただける、分かりやすい紙面づくりに努めます。
井口亮一



再登場となりました。他の委員さんのお荷物状態ですが、読者の温かい励ましの言葉を支えに頑張ります。
高橋さゆり



広報のあり方の追究と議会としての広聴を研究する礎にもしていきたい。さらに一歩前進を目指します。
島崎隆夫



「冒険」の後編がスタート。目指すお宝は……ズバリ、議会報コンクール「グランプリ」です! ご期待ください。
高瀬 勉



84号の記事中に誤りがありました。お詫び申し上げますとともに、下記のとおり訂正いたします。

P.5 審議した議案と議員の賛否 人権擁護委員のお名前 誤: 志治孝明氏 → 正: 志治孝昭氏

傍聴から
はじめよう!!

どなたでも傍聴できます (事前連絡は不要です)
役場3階にお越しください

次回定例会は

12月4日(月)~
開会は10時です

No.85
おがわ
ぎが
2017
秋号
9月定例会

No.85

小川町議会だより
平成29年9月定例会秋号
(11月1日発行)

発行責任者: 小川町議会議長 松本修三

編集: 議会広報発行特別委員会

委員長 笠原規弘 副委員長 田中照子

委員 井口亮一・高橋さゆり・島崎隆夫・高瀬 勉

